

わたくし  
魔神ルツセリアと  
申します

な本物……っ!?  
いやそれよりも  
これが魔神……??

カタン

どう見ても  
ただのメイド  
じゃないか……

細かい事は  
お気になさらず

然るべき手続きに  
より御身の元に  
馳せ参じました

おしろおしろしい  
容姿よりも受けが  
よろしいんですよ

おお!?

それに……  
御主人さまも  
この方がよろしい  
でしょう?

びん

んっ

これは夢か現か……  
馬鹿けた話だが  
せっかくだやってやれ

あん

ふふふ…やだ  
その気になられ  
ましたか?

むぎゅ むぎゅ

んっ…御主さまの  
お望みはこの胸を  
愛でる事ですか?

では存分に  
このルツセリアの  
おっぱい可愛がって  
くださいませ

むぎゅ むぎゅ

んくっ!!

んくっ!!  
乳房つままれる  
と…わたくし……

ひんっ!!

んくっ……  
そのその直に愛でて  
頂けますか?

んくっ……  
そのその直に愛でて  
頂けますか?

んくっ……  
そのその直に愛でて  
頂けますか?

しかし……  
これが魔神……？  
普通の女と変わら  
ないではないか



さあ  
存分に愛でて  
くださいませ



まったく  
可愛いものだ  
くださいませ



んああ  
あっ!!



……ふう  
そんな  
乳首はっかり  
され……  
んうっ!!



御主人さま……  
今度はわたくしにも  
御奉仕させてくださいな

よじと……

御主人さま  
こうされたかったの  
ですよわ？

おっぱいとのおっぱいの間に  
おちんちんを挟んで  
ずりずり……って



……ひびく……

わたくしのおっぱい  
いかがですか  
御主人さま

「これは何という  
柔らかさだ……  
すっかり包み  
込まれてしまった

あぁ？御主人さま  
そんな顔なされる程  
気持ちいいのですか？

